

研修

◆ 人材育成について
職員が自主・自律的な能力開発を推進するとともに、専門的な能力を身につけるため、様々な研修や自己啓発支援制度を提供しています。

・階層別研修

採用時に1週間行われる新採用職員研修をはじめとして、リーダーシップ研修等、それぞれのポストに応じた集合研修や、教室系技術職員や図書職員に対する専門的知識を習得するための集合研修などがあります。

・その他の研修

文部科学省等、他機関への派遣研修、民間派遣研修、海外派遣研修等があります。

・自己啓発支援制度

eラーニング、通信教育、放送大学の講座・講義を修了した人に対して受講料の半額を助成する制度があります。

・新採用職員研修

1週間の日程で行われます。各理事による京都大学についての様々な講義、先輩職員の経験談や桂キャンパス等の施設見学、またマナー研修などがあります。

・新採用職員実務研修 (一般事務職員対象)

平成16年度より、新採用職員研修に加えて、3週間の日程で実施されるようになりました。これは、本部各部及び病院での実地研修や全学的な会議の見学をすることにより大学の全体像を捉えるとともに、京都大学の現状、課題、将来構想に対する意識を高めることを目的としています。

経験者が語る文部科学省研修



吉雄 聡

医学研究科経理・研究協力室(保健学科担当)
平成15年度採用

◆ 文部科学省研修に参加しようと思った動機について

研修への参加は、採用当初から考えていました。高等教育行政を直に体験することは、将来間違いなく大きな財産になると考えていたからです。しかし、全国規模の責任ある仕事に就くことへの不安があり、自分に来るのかと迷っていました。そのようなとき、当時研修に参加していた先輩に相談すると、「確かにしんどいけど、何とかなるよ。」と軽く言われ、とりえず足を踏み入れてみようと思ったのです。

◆ 研修中の仕事について

研修先は高等局医学教育課庶務係となりました。仕事は課の窓口として、連絡調整や各種照会の取りまとめ、人事、会計、所管法人、栄典など多岐に渡ります。印象的だったのは、医学教育の功労者に対する表彰式の準備をしたことです。大臣も出席されるので進行にミスは許されず、入念な準備が必要でした。責任の重い仕事でしたが、大臣の表彰状読み上げの迫力に感動し、受賞者の方々にも喜んでいただき、またとない経験となりました。

◆ 将来、研修を考えている方へのメッセージ

少しでも意欲がある方は是非チャレンジしてみてください。文部科学省には志を高く持つ人ばかりが集まっていて、仕事に対する考え方、取り組み方の素晴らしい方がたくさんいます。また全国からたくさん仲間も来ます。私も文部科学省での上司、先輩、仲間の熱意・意欲を肌で感じ、とてもいい影響を受けました。そのことが何よりの収穫です。そして近い将来、今度は意欲あるみなさんと切磋琢磨して、互いに成長していきたいと思っています。

Satoshi Yoshio

経験者が語る海外研修



田代 恵

国際部国際交流課対外政策グループ
平成14年度採用

◆ 研修中の仕事について

1年間のアメリカ研修で、英語やアメリカの教育制度の勉強とインターンシップを行いました。特にペンシルバニア州立大学(PSU)では半年に渡って、PSUのハンドブックの日本語版作成や毎週行われる留学説明会の手伝いを始め、多様な職務を経験しました。アメリカの大学では、1つの仕事に従事する期間が長いということもありますが、仕事の分担が明確であり、職員は自分の仕事についての知識がとても豊富です。彼らが仕事に取り組む姿は、自信とやる気に満ちていました。私も自信が持てるほどに仕事への知識を深めていきたいと思っています。それが、より大きなやりがいにつながっていくのだと感じました。

◆ 海外研修での経験を現在の業務でどのように活かしていますか?

海外研修中はカルチャーショックに襲われ、意思疎通の難しさや文化の違いに悩んだ時期もありました。それらを乗り越えるのはたやすいことではありませんでしたが、その経験から自分の価値観のみを判断基準とせず、どんな意見に対しても理解しようとする姿勢を持つことの大切さを学びました。現在の仕事においては、常に相手の立場を思いやるように努め、良い協力関係を作るように心がけています。

◆ 将来、研修を考えている方へのメッセージ

海外研修は、日本では望んでも得られないような“逆境”を提供してくれる場です。決して楽しいことばかりではありません。しかし、逆境に身をおくことで、自分に足りないものははっきりと見えてきます。参加する機会があれば、ぜひ貪欲に自分の学びたいことを周りにどんどんアピールしていきませんか。そして、研修先でつらいことがあったら、いつでも相談して下さい。

Megumi Tashiro